

令和6年度(2024年度) 学校評価報告書（自己評価・学校関係者評価）

令和7年1月25日
学校法人足立弥生学園 中条幼稚園

I、本園の教育目標

幼児の心身共に健全な成長発達のために適切な環境を与え、集団生活を通して個々の幼児の自主性を育て、豊かな心を育てることを目指します。

目指す子ども像

- ・元気に挨拶ができる子
- ・健康で生き生き活動できる子
- ・たくさん遊び、心豊かな子
- ・よく見て、聞いて、考える子

II、本年度の重点的に取り組む目標・計画

- ・園庭でたくさん体を使った遊びを行い、身体能力が向上するよう促す。
- ・園児一人ひとりの理解を深め、より質の高い教育の実践を目指す。
- ・危機管理 園児が園内で安全に過ごせるよう対策をする。

III、評価状況の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	園児の身体能力向上	B	毎日園庭で遊ぶ時間をつくり、体を動かし運動機能が向上するよう努める。 体操指導でも指導内容を検討する。
2	園内研修、園外研修の充実	B	・職員が保育に関して問題に思っている内容を持ち寄り、テーマを絞り話し合う。 ・幼稚園協会の研修や、園外の研修に夏休み中に参加し、内容を報告し職員で共有する。
3	安全管理	B	・見守りカメラを3ヵ所設置し、園児を見守る。 ・正門の改修工事を行う。 カギを門の高いところに設置することにより園児のいたずらを防げるようになる。 また保護者の出入りのために、通用口をつくる。

IV、総合的な評価結果

全体の評価 B

各項目について 重点的に取り組んだ結果、

1、身体能力向上 気候が良い季節は外遊びが十分できたが、6月から9月にかけて、気温が高く、暑さ指数が連日高かったので、思うように外で遊べなかった。水遊びも、短時間にするなど、もう少し出来たらよかった。今後、直射日光を防ぐ工夫を考え、十分外で体を動かせるようにしたい。

2、職員研修 園内研修は職員間で、相談したい事項があるとき行われたが、気になる園児について意見を出し合うなどを行い、有意義に行われた。園外研修は各職員が希望するテーマの研修に参加し、大変勉強になった。それぞれ園に持ち帰り、共有し、保育に役立てた。職員の質の向上に役立った。

3、安全管理 見守りカメラは、園児が階段から落ちた時、その状況が分かり、階段の上り下りに関する指導の参考になった。また正門の改修は、園児による鍵のいたずら防止ができ、安心につながった。保護者も使いやすくなった。

V、今後取り組む課題

- ① 園内研修 園児の理解を深め学年を超えて、一人一人に寄り添える保育を行う目的で、今後も話し合いを行う。
- ② 環境 園庭や教室の環境について話し合い、遊びが充実するように幼児の発達に添った構成に取り組む。
- ③ 幼保小接続 幼稚園と小学校の教師が共に学ぶ機会を持ち、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を共有して、教育の接続を図る。

VI、学校関係者評価委員会の評価

幼稚園で安全にのびのび生活している様子が見られて安心した。園児一人ひとりにきめ細かく寄り添い対応している様子があり、先生の保育が子供中心に行われていると感じる。

体操やリトミック、英語あそびなど専門の先生の指導もあり、いろいろな学びが園内で行われているので、大変好ましい。

見守りカメラや正門改修など、積極的に行っていることは、安心につながる。職員の研修も積極的に行いより質の高い教育を行ってほしい。